

●ピボットテーブルを作成する

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	贈答セット販売記録										
2											
3	日付	性別	年齢	居住地	商品ID	商品分類	単価	数量	金額		
4	2023/1/2	男	27	東京都	SA-1050	海鮮セット	¥8,000	1	¥8,000		
5	2023/1/2	男	38	千葉県	SA-1001	海鮮セット	¥3,500	2	¥7,000		
6	2023/1/2	女	32	東京都	MA-1180	精肉セット	¥6,000	1	¥6,000		
7	2023/1/3	男	45	千葉県	SA-1050	海鮮セット	¥8,000	4	¥32,000		
8	2023/1/3	男	57	神奈川県	SA-1050	海鮮セット	¥8,000	1	¥8,000		
9	2023/1/5	男	52	神奈川県	PA-1503	加工肉セット	¥3,000	2	¥6,000		
10	2023/1/7	女	70	東京都	MA-1180	精肉セット	¥6,000	1	¥6,000		
82	2023/3/30	男	38	埼玉県	MA-1105	精肉セット	¥2,500	1	¥2,500		
83	2023/3/31	男	44	埼玉県	PA-1503	加工肉セット	¥3,000	2	¥6,000		
84	2023/3/31	女	28	神奈川県	MA-1120	精肉セット	¥4,000	3	¥12,000		
85											

図1 今回使用する例は、贈答セットの1～3月分の販売データを記録した表。会員制の通信販売で、顧客の情報も記録されている。集計対象にする表は、「リスト」形式で作成するのが基本だ

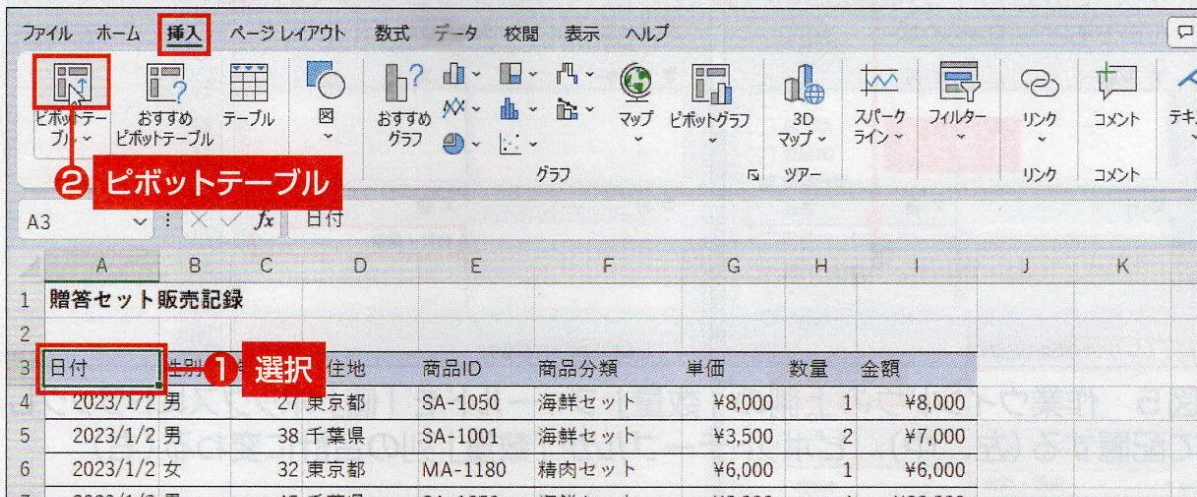


図2 表のセルを1つ選択し、「挿入」タブの「ピボットテーブル」の上側をクリックする。なお、表の一部のデータだけを集計対象にしたい場合は、そのセル範囲を選択して、同様の操作をする

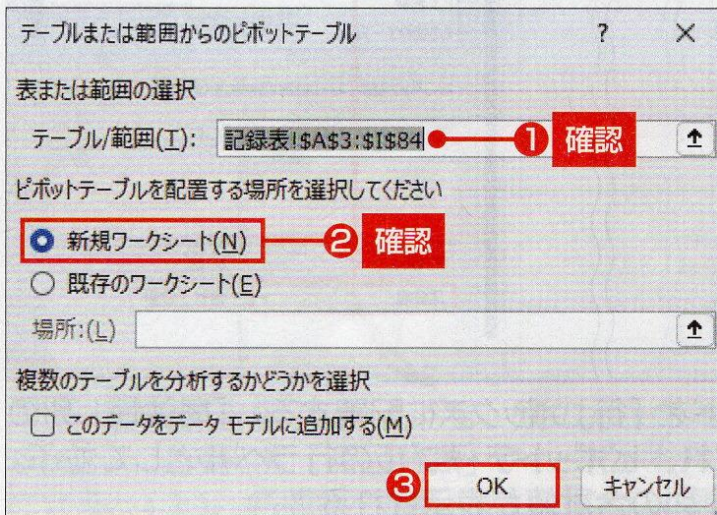


図3 「テーブルまたは範囲からのピボットテーブル」画面の「テーブル/範囲」欄で、選択したセルを含む表の範囲のセル参照が指定されていることを確認。また、配置する場所として「新規ワークシート」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックする

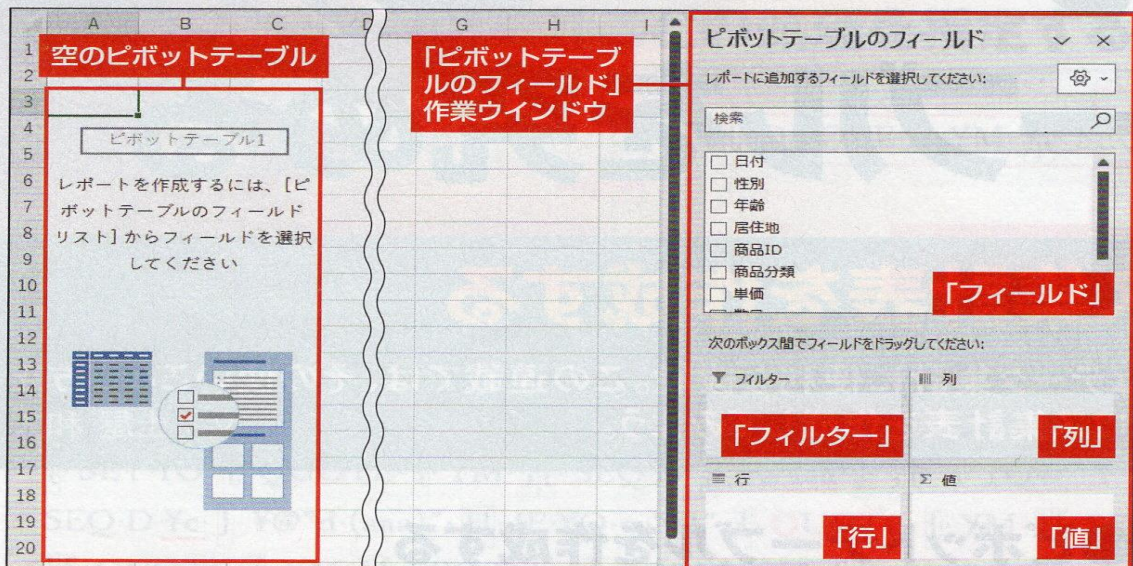


図4 作業中のブックに新規ワークシートが追加され、空のピボットテーブルが作成されている。ピボットテーブルの中のセルを選択している状態では、画面の右側に「ピボットテーブルのフィールド」作業ウィンドウが表示される

●クロス集計表の要素を指定する

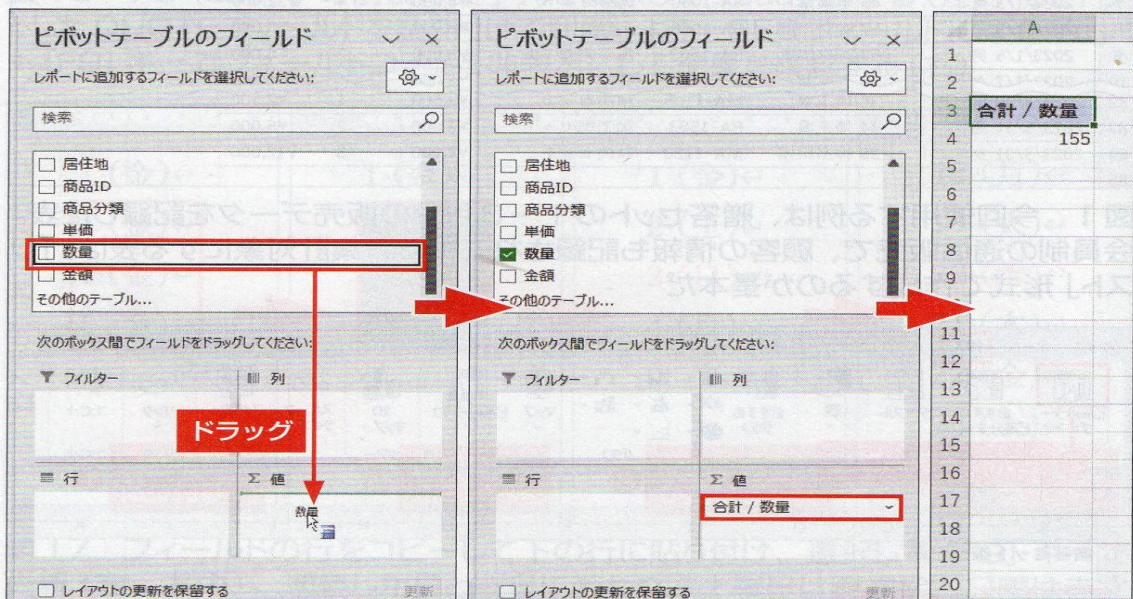


図5 作業ウィンドウの上側の「数量」フィールドを「値」ボックスにドラッグして配置する(左、中)。ピボットテーブルが「数量」列の合計に変わる(右)

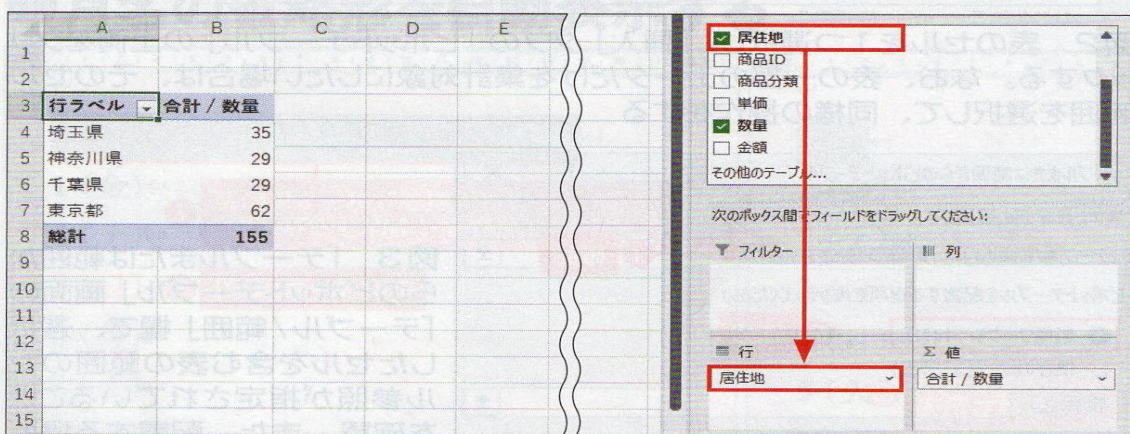


図6 次に、「居住地」フィールドを「行」ボックスに配置する。「居住地」列の各データが重複なしで取り出され、ピボットテーブルの行ラベルとして並ぶ。その各居住地に該当する「数量」列の合計値が表示される

行ラベル	加工肉セット	海鮮セット	精肉セット	総計
埼玉県	9	13	13	35
神奈川県	9	8	12	29
千葉県	4	12	13	29
東京都	31	13	18	62
総計	53	46	56	155

図7 「商品分類」フィールドを「列」ボックスに配置する。「商品分類」列の各データが重複なしで取り出され、ピボットテーブルの列ラベルとして並ぶ。行と列の各ラベルに該当する「数量」の合計を求めるクロス集計表が完成した

●クロス集計表の要素を変更する

図8 各ボックスに配置したフィールドは、ボックスの外側へドラッグすることで、ボックスから取り除ける。ここでは、「行」ボックスに配置した「居住地」フィールドをドラッグしてこのボックスから外した

行ラベル	合計 / 数量
加工肉セット	53
海鮮セット	46
精肉セット	56
総計	155

図9 配置済みのフィールドを、別のボックスへ移動することも可能だ。「列」ボックスに配置した「商品分類」フィールドをドラッグして、「行」ボックスへ移動させると(上)、各商品分類が行ラベルとして表示される(下)

● 複数のフィールドを配置する

	女	男	総計
加工肉セット	28	25	53
海鮮セット	14	32	46
精肉セット	25	31	56
総計	67	88	155

図10 空になった「列」ボックスに、改めて「性別」フィールドを配置する。各商品分類を行ラベル、各性別を列ラベルとするクロス集計表に変更された

	女	男	総計
加工肉セット	28	25	53
PA-1503	16	10	26
PA-1531	3	6	9
PA-1575	9	9	18
海鮮セット	14	32	46
SA-1001	4	8	12
SA-1010	5	16	21
SA-1050	5	8	13
精肉セット	25	31	56
MA-1105	3	17	20
MA-1120	14	12	26

図11 1つのボックスの中に、複数のフィールドを配置することもできる。ここではまず、「商品ID」フィールドを「行」ボックスの「商品分類」の下にドラッグして配置する(左上、右上)。各商品分類を小計、各商品IDをその詳細データとするアウトライン形式の表示に変化する(左)

	女	男	総計
加工肉セット	28	25	53
PA-1503	16	10	26
PA-1531	3	6	9
PA-1575	9	9	18
海鮮セット	14	32	46
SA-1001	4	8	12
SA-1010	5	16	21
SA-1050	5	8	13
精肉セット	25	31	56
MA-1105	3	17	20
MA-1120	14	12	26
MA-1180	8	2	10
総計	67	88	155

図12 小計のラベルの左側には[-]ボタンが表示されている(左)。ここをクリックすると、詳細データの行が折り畳まれ、ボタンが[+]に変わる(右)。この[+]ボタンをクリックすると、非表示になった詳細行を再表示できる

行ラベル	合計 / 数量	合計 / 金額	合計 / 数量	合計 / 金額	全体の 合計 / 数量	全体の 合計 / 金額
加工肉セット	28	105000	25	99000	53	204000
PA-1503	16	48000	10	30000	26	78000
PA-1531	3	12000	6	24000	9	36000
PA-1575	9	45000	9	45000	18	90000
海鮮セット	14	79000	32	172000	46	251000
SA-1001	4	14000	8	28000	12	42000
SA-1010	5	25000	16	80000	21	105000
SA-1050	5	40000	8	64000	13	104000
精肉セット	25	111500	31	102500	56	214000
MA-1105	3	7500	17	42500	20	50000
MA-1120	14	56000	12	48000	26	104000
MA-1180	8	48000	2	12000	10	60000
総計	67	295500	88	373500	155	669000

図 13 「金額」フィールドを「値」ボックスの「合計/数量」の下にドラッグして配置してみよう(左上)。「列」ボックスにも自動的に「Σ 値」が追加され(右上)、「数量」列の合計と並んで「金額」列の数値の合計も表示される(下)

● 「おすすめピボットテーブル」から作成する

日付	性別	地	商品ID	商品分類	単価	数量	金額
2023/1/2	男	東京都	SA-1050	海鮮セット	¥8,000	1	¥8,000
2023/1/2	男	千葉県	SA-1001	海鮮セット	¥3,500	2	¥7,000
2023/1/2	女	東京都	MA-1180	精肉セット	¥6,000	1	¥6,000

図 14 Excelには、表示された完成例から選ぶ形で、簡単に集計表を作成できる機能がいくつか用意されている。まず、対象の表のセルを選択し、「挿入」タブの「おすすめピボットテーブル」をクリックする

合計 / 数量 (集計元: 商品ID (+))	合計 / 金額	列ラベル	合計
加工肉セット	46000	49000	100
PA-1503	18000	18000	31
PA-1531	9000	18000	24
PA-1575	20000	20000	41
海鮮セット	59000	79000	138
SA-1001	7000	14000	21
SA-1010	420	538	988
SA-1050	86	171	957

図 15 「おすすめピボットテーブル」画面の左側で、ピボットテーブル案の中から1つを選択。右側に詳細なプレビューが表示される。内容を確認して「OK」をクリックすると、選んだピボットテーブルが作成される

●「クイック分析」から作成する

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	贈答セット販売記録										
2											
3	日付	性別	年齢	居住地	商品ID	商品分類	単価	数量	金額		
4	2023/1/2	男	27	東京都	SA-1050	海鮮セット	¥8,000	1	¥8,000		
5	2023/1/2	男	38	千葉県	SA-1001	海鮮セット	¥3,500	2	¥7,000		
6	2023/1/2	女	32	東京都	MA-1180	精肉セット	¥6,000	1	¥6,000		
7	2023/1/3	男	45	千葉県	SA-1050	海鮮セット	¥8,000	4	¥32,000		
8	2023/1/3	男	57	神奈川県	SA-1050	海鮮セット	¥8,000	1	¥8,000		
9	2023/1/5	男	52	神奈川県	PA-1503	加工肉セット	¥3,000	2	¥6,000		
10	2023/1/7	女	70	東京都	MA-1180	精肉セット	¥6,000	1	¥6,000		
11	2023/1/8	男	35	東京都	PA-1575	加工肉セット	¥5,000	2	¥10,000		
12	2023/1/8	男	48	埼玉県	MA-1105	精肉セット	¥2,500	3	¥7,500		
13	2023/1/9	女	44	東京都	MA-1180	精肉セット	¥6,000	1	¥6,000		

図16 データを入力したセル範囲を選択すると、右下に「クイック分析」ボタンが表示される。ここをクリックすると、選択範囲を対象とした条件付き書式やグラフなどの設定例を選べる「クイック分析ツール」のメニューが表示される

The image shows two parts of the Excel interface. The top part shows the 'クイック分析' (Quick Analysis) menu that appears when a data range is selected. The menu includes options like '書式設定(E)', 'グラフ(C)', '合計(Q)', 'テーブル(T)', and 'スパークライン(S)'. The 'テーブル(T)' option is highlighted with a red box and a '1' in a red circle. Below the menu, a red arrow points to the 'テーブル' icon, which is also highlighted with a red box and a '2' in a red circle. The bottom part of the image shows the resulting pivot table. The pivot table has '行ラベル' (Row Labels) with categories like '加工肉セット', '海鮮セット', and '精肉セット', and a '合計 / 年齢' (Total / Age) column. The pivot table is highlighted with a red box and a '3' in a red circle. A red arrow points to the 'テーブル' icon in the menu, which is highlighted with a red box and a '4' in a red circle.

行ラベル	合計 / 年齢
加工肉セット	976
海鮮セット	958
精肉セット	1171
総計	3105

図17 「テーブル」を選ぶと、表から変換できる「テーブル」のほか、複数の「ピボットテーブル」が表示される(上)。マウスポインターを重ねるとプレビューが表示され、クリックするとそのピボットテーブルが作成される(下)

● 「データ分析」から作成する

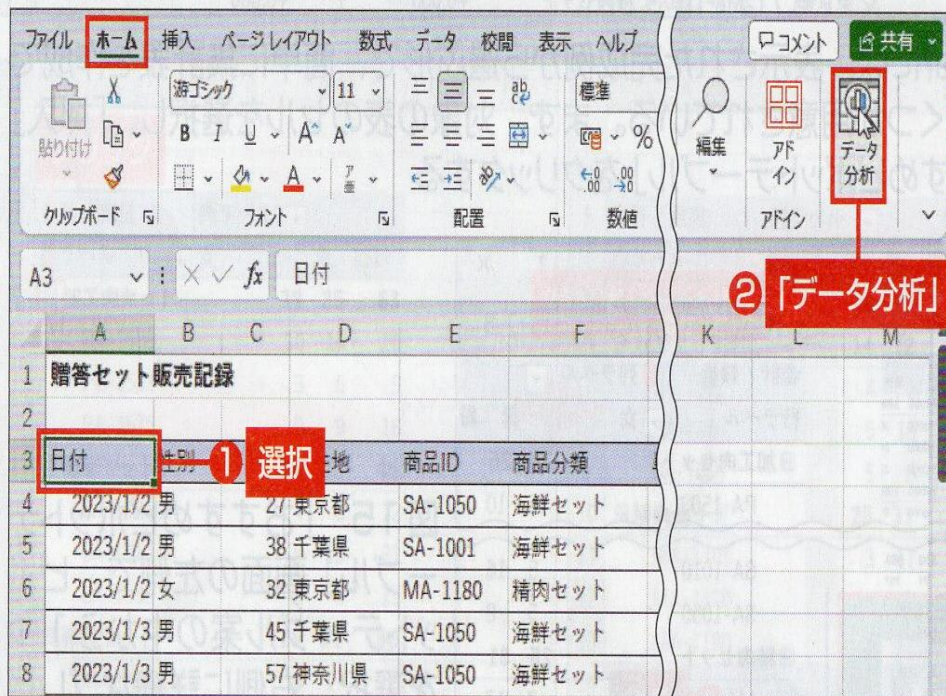


図18 対象の表のセルを選択し、「ホーム」タブの「データ分析」をクリックする。すると、自動的に表の範囲全体が選択され、この表を対象としたデータ分析の提案が、「データ分析」作業ウィンドウに表示される

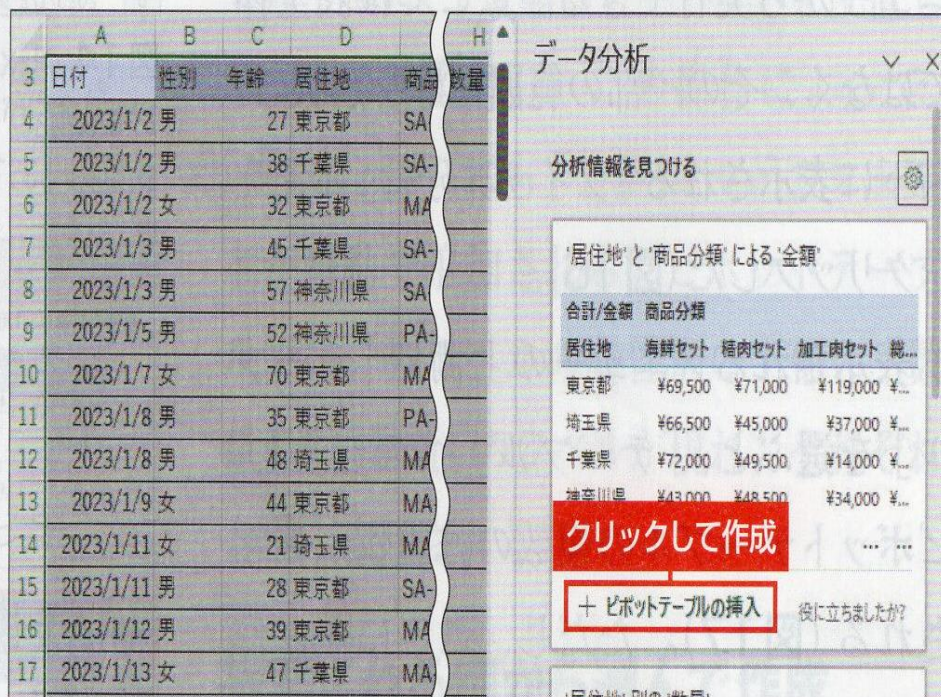


図19 提案されるのはピボットグラフが多く、ピボットテーブルは1つ程度だが、データをより深く分析した結果に基づく集計表の例だ。その下の「ピボットテーブルの挿入」をクリックすると、提案された内容のピボットテーブルが作成される